

震災から1年7カ月、社員の気概と取引先の協力で復興

「商品を通じて

東北の元気を伝えたい」

コスメティックアイダ

うめナビ

vol.7-2

化粧品製造販売を行っているコスメティックアイダ(渋谷区渋谷、神谷文夫社長、03・5468・5151)は、宮城県亘理町に3カ所の工場を有しているが、東日本大震災で主力工場が津波で破壊され、甚大な被害を受けた。しかし、多方面の協力により、震災後3週間で操業再開し、今月中旬までには工場が完全復旧するまでに至った。会社復興に至ったパワーの源について神谷社長は、①「生命」(社員が助かったこと、会社を復興させようとする全社員の気概)、②「協力」(震災により約130万個の商品を失ったが、原材料の再調達にあたり、取引先が免費してくれたこと、外注先のバックアップのおかげで納期に間に合ったこと)を挙げている。

同社の企業理念は「日本文化の創造」である。「科学の進歩とともに、時代にマッチした化粧品を創り出し、文化を継承していくことだ」と神谷社長は言う。

同社は2年前に「シラガネーゼ」という白髪染め商品を開発、「気になる場所にさっとひと塗り！」をセールスポイントとして50万本の大ヒット商品となった。



また、同社には一般化粧品の他に「舞台屋」という化粧品ブランドがある。これはメイクさん・衣装さん・美術さんといったプロ向け化粧品の営業・販売であり、同社の高い技術力があるからこそなせる業である。役者さんが汗をかいても化粧が崩れないので、業界関係者から絶大な評価を受けており、数多くの作品(映画・演劇・テレビドラマ等)に協賛、アカデミー賞受賞作品「おくりびと」にも使われた。

さらに、平成9年には、「指紋採取用パウダー」の開発により、宮城県警察本部より表彰を受けており、同社の高い技術力をうかがうことができる。

「どの化粧品を選んでいいのか判らない方々が多くいらっしゃいます。当社の化粧品は期待を裏切りません。是非使ってみてください」と神谷社長はメッセージを送る。

詳しくは同社通販用ホームページまで

<http://www1.enekoshop.jp/shop/buoyant-cosme/>



「日本文化の創造」を理念に掲げる神谷社長